



ささぶえ

学校教育目標

「たくましく未来を切り拓く児童の育成」

竹島小学校 学校だより

2024年7月10日(水)

No.10 文責：太宰

☆1年生の保育所訪問 職員室の先生たちへの音読発表☆

4日の1時間目に、1年生が竹島保育所へ行き、国語で学習した内容を発表して、3・4・5歳の皆さんに聞いてもらいました。先生にもたくさん褒めてもらいました。「こんなことしたよ」では、4人が1年生になったことを文章にして伝えました。自分の気持ちを入れてわかりやすく書いていました。「おおきなかぶ」では、登場人物にわかれて、声の出し方を変えたり、動作をつけたりして発表できました。長い文章ですが、4人で力を合わせて最後までできました。

2時間目は、職員室にいる先生たちを音読発表に招待をしてくれました。「おおきなかぶ」がなかなか抜けないところの読み方を工夫し、みんなで力を合わせて「やっとぬけました」のところはうれしさいっぱいの表現でした。入学して3カ月。ぐんぐんと読む力、表現する力をつけてきている1年生です。おうちの方にも聞いてもらいたい発表でした。



○被爆ピアノ平和学習 「ミサコの被爆ピアノ」が来ました○

5日の1時間目に全校児童が体育館に集まり、被爆ピアノ平和学習を行いました。広島で調律師をしている矢川光則さんをお招きしました。「ミサコの被爆ピアノ」は、昭和7年製造のピアノで、広島で被爆をしたピアノです。

矢川さんからは短い時間でしたが、広島での戦争の話やピアノの話を聴きました。子どもたちが興味をもつよう、クイズの出題もありました。当時、このピアノは630円だったことや、矢川さんのところに来たときは、ピアノの中からガラスの破片がたくさん出てきたことも教えていただきました。その次に、「ヒロシマの有る国で」と「竹島小学校の校歌」を被爆ピアノの演奏で歌いました。音楽は人の心を動かすといいますが、まさにそう感じたひとときでした。被爆ピアノの響きも、子どもたちの歌声も素晴らしく、感動しました。6年生は広島で平和学習をしてきた後なので、修学旅行での見聞を思い出したのではないのでしょうか。

矢川さんは、お一人でピアノを運び、日本全国依頼のある場所に出向いているそうです。被爆体験者は少なくなっているうえに、体験を語るができる方はさらに少なくなっているそうです。『ピアノであれば、自分で調律しながらいろいろな場所に行ける。多くを説明しなくてもピアノを演奏して音色を聴いてもらったり、一緒に歌を歌ったりしてもらっただけで、平和について感じてもらうことができる。だからこの活動をしている』と伺いました。お話を聴いていて、ピアノを託された方々の思いを受け止め、強い使命感をもって活動している方なのだと感じました。竹島小学校に来ていただき、感謝しかありません。また、お忙しい中、来校いただいた保護者やご家族の方々にも感謝申し上げます。ニュースや新聞報道もありました。子どもたちいい表情でした。



竹島小スローガン「た くましく けんこう第一 ① っかり学び ② じめにコツコツがんばる子」

☆七夕の願いごとは・・・☆

6月末に、東さんから七夕の短冊と、こよりを100枚ずついただきました。子どもたちは一人4枚、先生は2枚ずつ願いごとを書いて、笹に飾りました。笹も、7月になって東さんがもってきてくださいました。笹が届くと願いごとを書いた学級から飾り付けをしていました。かわいい願いごと、現実的な願いごと……。友だちの願いごとを見て、これえいねという願いごとを見つける子どももいました。1年に1回、考えて書くことは自分の思いを知る、確かめる機会になり、大事かもしれませんね。東さん、ありがとうございました！



○防犯教室での学習 これからに生かしましょう！○

5日の5時間目に、中村警察署から二人の講師をお招きし、低学年と高学年に分かれて防犯教室を行いました。低学年（1・2・3年生）は不審者対応・万引き防止教室、高学年（4・5・6年生）は携帯電話・ネットに関わる防犯教室を行いました。夏休み中の生活にもつなげてほしい内容なので、毎年行っている防犯教室です。3年生と6年生は3回目だと思いますが、毎年確認することは大事なことです。お子さんからどんなことを学んだのか内容を聞きましたか？ぜひ聞いてみてください。

世の中にはいろいろなきまりがあります。みんなが安心・安全に気持ちよく過ごすために必要な決まりがあることを理解してほしいなと思いました。

「気持ちよくコミュニケーションアプリを使うために」

- ①人を傷つけることばや悪口は書かない
- ②ルールや約束を決める
- ③読む人の気持ちを考えておく
- ④友だちとなかよくするために正しく使う



平和七夕で竹島小の
折り鶴を見つけました！

☆そろえよう トイレや玄関 気持ちよく☆

玄関の靴箱の靴がそろっていると、朝気持ちが悪くありません。一日がんばろうという気持ちがわいてきます。

生活朝会で、美化委員さんからトイレのスリッパ点検の結果の報告があります。「1階の男子トイレ〇点。女子トイレ〇点。」と。10点中最高5点。厳しい結果です。

右の詩は、長野市の円福寺の住職であった藤本幸邦住職が作った詩です。どうしてはきものをそろえると心もそろうんでしょうね。心がそろうとはきものもそろうんですね。心とはきものってつながっているのでしょうか？

はきものをそろえると心もそろう
心がそろうとはきものもそろう
ぬぐどきにそろえておくと
はくどきに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと
世界中の人も心もそろうでしょう